



夢叶える北小っ子



菊池市立菊池北小学校
学校だより 第12号
R8.10.15(木)
文責:校長 上田 玲子

菊池北小学校 校訓 「夢と希望」「努力と挑戦」「自信と誇り」

前期、グンと成長できました 今日から後期のスタートです

4月に始業式をしたときに比べ、10月の終業式の子どもたちは凛として話をしっかり聞くことができる子どもたちがグンと増えていました。確実に成長していることを実感します。

本日から、後期のスタートです。終業式や始業式の時に「夢叶える北小っ子」の実現に向けて月の言葉を伝えました。

心が変われば 行動が変わる
行動が変われば 習慣が変わる
習慣が変われば 人格が変わる
人格が変われば 運命が変わる



反省することや後悔すること、達成感を感じることも、心はいつも動いています。そこから、「前期は〇〇だった。だから、後期は□□をやってみよう」と振り返って分析して、次の行動を考える…ここまでは子どもでもしっかり考えることができます。要はこの後の「行動」です。そして、行動を継続することによる「習慣化」です。良くない行動をし続けて良くない習慣がついてしまった人は、不幸せな未来がまっています。だから小さな一歩から自分を高める行動に挑戦してほしいと思います。

がん教育講話で教えてもらったこと

10月6日(火)は古庄亮二さんをお招きしての健康講話(がん教育)を実施しました。

- ・「がん」のことと闘病中のこと
- ・夢と希望と仲間の存在が克服することにつながったこと
- ・小さな一歩から積み重ねて夢実現につながることを4～6年生にお話ししてくれました。

古庄さんは、北小の子どもたちが前のめりになって瞳を輝かせて聞いていたことや、質問したり、励ましてくれたり、感想を述べに来てくれたりしたことにすごく感謝してくださいました。

私もその話を聞いて感激し、北小の子どもたちを更に誇らしく思いました。(4年生の感想のお手紙→)



菊池っ子60運動講演会がありました ～光 暗闇 外遊び～

10月4日(日)に菊池市教育委員会主催で開催された講演会で、日本体育大学教授の野井 真吾氏が登壇されました。内容は、子どもたちの健やかな健康の仕組みづくりとそれに伴って輝き始める多大な可能性についてご教示されました。

光・暗闇・外遊び→早寝早起き朝ごはんにつながる

日本の子どもたちは世界一寝ていない!?これ、本当だそうです。そこで野井教授が考えた結論は「光・暗闇・外遊び」。光を体を感じると「セロトニン」が分泌され、暗闇を感じると「セロトニン」が「メラトニン」に変化し、質の良い睡眠に誘われる…という科学的根拠をもとに説明されました。

また、外遊びは光を体を感じるし、脳の刺激が豊かになり、シナプスが増え、空間認知や危機管理能力、迅速な判断力等が養われ、学習にもいい影響をもたらすとのことでした。このことは、私が10年前にも読んだことのある「40歳の教科書」にも似たようなことが書かれてあり、そこでは「算数の力」が付くとも言われていたことを連想しました。

ワクワク・ドキドキのすすめ

昼は子どもが子どもらしく夢中になれる取組、興奮できるような取組を仕掛けましょうというお話です。何もすごく大変なことをするのではなく、ちょっとした親との競争を仕掛けたり、じゃれ合いながら体をほぐしたり、「学びの遊び化」をしていくと、楽しみながら発想力を高めていくことになります。学校の授業もしっかりです。

よい加減のすすめ

子どもだけでなく、大人も楽しみ、のんびり・輝きながら「よい加減」を探求していくことも大切とのこと。ガチガチに「〇〇しなくちゃ」と追いつめるばかりではなく、たまには「まあいいか」タイムがあると、また頑張れますよね。

このように、明日から親として、教師として、地域社会として、子どもたちの健やかな成長のために自分ができることをたくさん教えていただきました。後期も北小職員一同楽しんでまいります。一緒に楽しみながら輝いていきましょう。